



2F 令和のリニューアル

学習コーナー新設

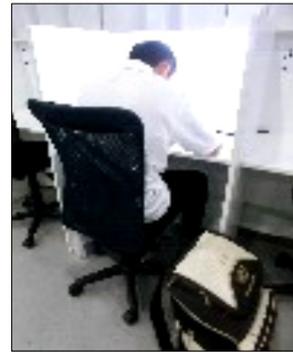
平成から令和への移り変わりに合わせ、コミュニティセンター湘南の2階ホールが生まれ変わりました。新たに設けたのは「学習コーナー」です。机は3つ。それぞれ仕切りがあるので他人の目を気にせず勉強、読書ができます。またWi-Fi利用で、パソコンやタブレットを手軽に使えます。

「談話コーナー」も新装です。階段を上って左に白の4人掛けテーブルが2卓。同じ2階の大会議室での休憩時間にひと休み、会議のあとの話し合い、また少人数で語り合うとき、静かな雰囲気の中でゆったり過ごせます。

リニューアルして約2カ月が経ちました。学習コーナーへ最初にやって来たのは柳島に住む高校生。試験を前にしての勉強のようでした。週末には中年男性の姿も。ひよっとしたら資格試験に向けての特訓? どうしても



セコ ンミ ホー ール よ う じ そ



家族が目に入り気が散る自宅とは違い、勉強に集中できる場所なのかもしれません。

最近、コミセン湘南す

ぐ近くにある中島中学校の生徒の利用者も多くなりました。学校の帰り道に立ち寄り、予習でしょうか。制服姿のグループが談話コーナーのテーブルを

囲み、熱心にペンを走らせていました。また、一度帰宅して、私服に着替えてやってくる人もいます。

学習コーナーを利用できるのは中学生以上で、最長午後8時まで。予約の必要はありません。受付で申し込めば、誰でもいつでもOK。また、2階が満席になった場合は1階ホールへご案内します。

1F 平成のメモリー



コミセン湘南館内に靴を履いたまま入れるようになったのは平成26年。この土足化により、1階ホールを訪れる人も増えました。ミーティングや待ち合わせ場所として、安くて便利な印刷機・コピー機利用などだけではなく、毎年恒例の子どもコミセンまつりのイベント、昨年の西日本豪雨災害募金のためのかき氷まつりなど、フリースペースを有効活用してきました。今後、令和の時代にふさわしい企画、ホールでのコンサートなどを計画しています。ご期待ください。



★トピックスは裏面



トピックス

「湘南地区まちぢから協議会」ホームページ

<http://shonanmachi.sakura.ne.jp/index.html> に

「コミセン湘南」のコーナーがあります

けだし名言「料理に正解なし」

【平成31年3月29・30日、令和元年6月20・21日 料理講習会】66回目だった3月は平成最後、そして6月は令和最初の料理講習会となった。時代の節目のメニューは、講師・奥田さんが図書館通いをして決めたという。さて、恒例の試食会。奥田さんが材料選びから味付け、盛り合わせまで「料理秘話」を披露。調味料などは目分量でいい、体で覚えた自分の味を出せ、どんな料理もそれぞれの家庭用にアレンジすべし。「料理に正解はありません」が奥田流極意のようだ。



令和の時代さらに進化

【令和元年5月11日 コミセン湘南総会】後藤会長の「たくさんの方にご利用いただきたい」のあいさつで始まり、平成30年度の事業、収支決算報告、令和元年の事業計画、予算案などが承認された。昨年、ハロウィンも兼ねて行われた子どもコミセンまつりは11月9日に「子どもコミセンまつりwithクリスマス」として実施。南湖公民館の出前講座の充実、夏には小学生を対象にした工作教室・映画会、秋にはカラオケ大会など、より多くの参加を期待できるイベント計画も盛り込まれている。



語り継ぐ平和への願い

【5月25日 湘南ゆりの会・対話劇】茅ヶ崎、藤沢、平塚、鎌倉、寒川に住む、退職した女性教職員による湘南ゆりの会が、コミセン大会議室で対話劇「おしえて いそべ先生～せんそうがあった子どものときのこと～」を開催。87歳の磯部先生が子ども時代に体験したことを、B29襲来のスライドなどを見せながら5人が対話形式で語った。「戦争を知らない人に戦争の悲惨さを知ってほしい」と戦時中の食料、衣類も展示。長年、コミセンの日本文学講座の講師を務めた元教師の井上さんも特別参加、当時の自らの体験を話した。



コミセンがパン屋さん

【5月29日 大人の手づくりパン教室】昨年12月に開いて好評、リクエストに応じて2回目のパン教室。「前は大きなパンだったので今回は小さなパンです」。講師の1人、根岸さんの掛け声でコロッケパン、ハムポテトサラダパン、カニカマチーズパンづくりが始まった。男性2人を含む14人の参加で、熱心にメモをとる人も。オーブンで焼きあがると、隣の部屋で全員そろってのランチ。あたりには香ばしいパンの匂い、「コミセンがパン屋さんになったわね」のささやきが聞こえた。



悲願！新エアコンで涼風

【6月2日～24日 エアコン工事】ほぼ1カ月をかけコミセン館内のエアコン取り換え工事が完了した。コミセン湘南がオープンしたのは平成10年、老朽化が進み故障がち。特に夏場の暑さは深刻で「新しいクーラーを」がここ数年来の



願いだった。3つの会議室や和室、調理室と1、2階ホール、さらに子どもの家にまでコミセン全館にさわやかな風。今年の夏は、より多くの利用者に快適なひとときを過ごしていただけるはず。

[あとがき]新元号「令和」は万葉集巻5「梅花の歌32首の序文」からの引用です。万葉集といえば井上寿芳さんの「日本文学講座」。平成17年の第1回から今年1月までに都合3回、万葉集の講義。梅の歌会を主宰した大伴旅人、その息子・家持は講座で何度も取り上げられました。井上先生、そして受講者の方々は「令和」に特別な感慨を持たれたことでしょう。